

# ウェルフェア

# おおわに



No. 170



みんなで楽しくあんしんおおわに

## 「1年分笑ったじゃ!!」

11月26日(土)に、虹貝新田へき地保健福祉会館にて『出張ふれあい児童館』を開催しました。

虹貝新田地区では今回で3回目となりますが、地域の方々には、毎回、この日をととても楽しみに何よりも優先して来てくださる方もいらっしゃいます。

今年も、恒例となった「エビカニックス」や「大鰐小唄」を踊り、「シートゲーム」「玉入れ」「なんちゃって雪合戦」、お手玉やけん玉あそびなど盛りだくさんの遊びをしました。

1歳から93歳のおばあちゃんまで幅広い年代の方々が一緒に笑い、一緒に楽しむことができました。

「おもしろくてあったなー」「1年分笑ったじゃ」という声も聞かれ、また来年開催することを約束し会場をあとにしました。

「笑い」は体の免疫力までアップすることが実証されているそうです。皆さんも健康のためにも様々な集いの場に足を運び、参加してみましよう。それは、きつと「みんな楽しくあんしんおおわに」にもつながります。

# 令和5年新春にあたり



社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会  
会長 山田 金治

皆さまには輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は皆さま方から格別のご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和4年度もコロナウイルス感染症の影響が続き、様々な事業の縮小や内容を変えての開催となりました。しかし、コロナ禍でより一層、人と人とのつながりの大切さ、心身の健康に及ぼす影響などに気付かされた年でもありました。地域福祉を推進する社会福祉協議会としても、「つながりを絶えさせない」気持ちで関係機関、地域住民の皆さまの協力を得ながら事業を実施してまいりましたが、各事業の更なる充実とともに、4月からは、「大鰐町社会福祉協議会ボランティアセンター」の設置も目指しております。自分にできることでボランティアをしてみたい方とボランティアを必要とする方をつなげることを第一の目的とし、多くの方が、ボランティアや地域の問題について考える機会となるように運営してまいりたいと考えております。今後とも何卒皆さまのご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご発展を祈念いたすとともに、「みんなで築くあんしんおおわに」の実現に向け、今後も本会に対するご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 第35回大鰐町社会福祉大会

当会では11月25日（金）、第35回大鰐町社会福祉大会を3年ぶりに開催しました。

新型コロナウイルス感染症への警戒から、受賞者と一部来賓のご臨席のもと、式典のみとなりましたが、社会福祉の向上に尽力され多大な功績を残された方々を表彰することにより感謝の意を表することができました。

表彰状・感謝状の贈呈後、受賞者を代表して山谷和之さんが「みんなが支え合う福祉の町づくりのため、これからも努力して参ります」と謝辞を述べました。

この度、表彰の部・感謝の部で対象となったのは左記の11名・4団体の方々です。



### 表彰の部

- 石井 優子 様 (蔵館)
- 吹田 千草 様 (大鰐)
- 山谷 和之 様 (島田)
- 山田 壽美 様 (元長峰)
- 片山真理子 様 (蔵館)
- 築館喜美子 様 (大鰐)
- 山本 郁子 様 (蔵館)
- 二川原節子 様 (大鰐)
- 山中 博文 様 (宿川原)

### 感謝の部

- 米倉 忠英 様 (蔵館)
- 三浦 武則 様 (鯖石)
- 大鰐中学校 様
- (有)サトー・フロリスト 様
- 大鰐クリーン協同組合 様
- (有)幸山 様

「受賞おめでとうございます」

●全国社会福祉大会において永年の活動が表彰されました。

【全国社会福祉協議会会長表彰受賞】

大鰐町民生委員児童委員

佐藤 昭子 様

●11月2日、「つながりを途絶えさせない地域づくり」をテーマに第71回青森県社会福祉大会が3年ぶりに開催され、大鰐町から福祉活動に尽力された方1名が表彰されました。

【青森県社会福祉大会会長表彰受賞】

大鰐町民生委員児童委員

笹森 慶子 様

●12月16日、第15回社会福祉協議会地域福祉活動推進会議が田舎館文化会館で開催され、「発災3日後からの被災者支援の軌跡」と題し、災害支援について学ぶとともに福祉活動に尽力された方々7名が表彰されました。

【津軽広域社会福祉協議会

連絡協議会会長表彰受賞】

大鰐町民生委員児童委員

佐々木たけ子様

古川 綾子様

幸山 洋子様

畑中 敏子様

八木橋 芳美様

工藤 善美様

浅利 祥子様

福祉団体役員

〃 〃 〃 〃 〃

大鰐町社会福祉協議会 ボランティアセンターを開設します！

令和5年 4月1日から

ボランティア活動を行いたい人と、ボランティアの手助けがほしい人との調整や、ボランティア活動の支援を行うため、令和5年4月1日より、大鰐町社会福祉協議会ボランティアセンターを開設します。

ボランティアセンターに登録いただいた場合、ボランティア活動保険の掛金を当会で負担しますので、皆さまの登録をお願いいたします。

ボランティアセンターって何？

主に次のようなことを行います。

- ・ボランティア活動をしたい人とボランティアによる支援を求める人とのマッチング
- ・ボランティア活動に関する情報提供
- ・ボランティア活動保険への加入補助

ボランティアの支援を受けるには？

まずは電話等でお問い合わせください。その後、ボランティア依頼カードに必要事項を記入いただき、マッチングを行います。

状況等にもよりますが、ボランティア実施までお時間をいただくこととなりますので、依頼する場合は余裕を持って依頼するようお願いいたします。

※内容や状況によっては対応できない場合もありますので、ご了承ください。

ボランティア活動をやりたい方は？

登録用紙（団体または個人）に必要事項を記入し、当会に提出していただきます。

※令和5年度のボランティア活動保険に加入を希望する方は、令和5年3月25日（土）までに登録をお願いします。（費用は当会で負担します）

- 詳細については、次号でお知らせいたします。

担当：藤田

TEL：47-5151 FAX：47-5153

E-Mail: o-shakyo.3@amail.plala.or.jp



クリスマスお楽しみ会の様子

「童謡を歌う会」の皆さんの歌から始まり、愉快なサンタも登場し、超本格的なフリースタイルダンスに目を奪われました。その後は、くじや駄菓子、射的やバルーンアートなどたくさんの方のコーナーを楽しみました。参加者のたくさん笑顔であふれましたが「もっと遊びたかった。時間が足りなかった」という声も聞かれ、コロナウイルスが終息し、飲食しながらゆつくりと楽しめる日が来ることを願います。

平成25年から始まった『福祉センターみんなの作品展』ですが、今年でちょうど10回目となり、11月15日から12月11日まで開催しました。作品展は、地域の方がどなたでも出品することができ作品展です。今年も、なんと101歳の方からの出品もありました。年々出品してくださる方が増え、絵画・写真・版画・編みもの・縫物・刺繍・折紙などいろいろなものを作っている方がたくさんいるのだと感心させられています。来年もまた、皆さまからの出展をお待ちしております。



福祉センターみんなの作品展の様子

## 「たくさんさんの笑顔であふれました」

「福祉センターみんなの作品展・クリスマスお楽しみ会」

## 赤い羽根共同募金中間報告

皆さまのやさしさありがとうございます

赤い羽根共同募金運動は10月1日より開始し、町民の皆さまや職域の方々よりたくさん募金をいただいております。

今年も戸別募金とは別に、500円以上の寄付をしていただいた方に、大鰐町限定ピンバッジを贈呈しております。町民の皆さまのほか町外の皆さまにも好評で、こちらもたくさんの方の寄付をいただいております。

10月3日には大鰐町赤十字奉仕団の皆さまのご協力により、青森銀行、鰐come、マックスバリュ、大湯会館、若松会館前で街頭募金を行い、道行く方々よりたくさん募金をいただきました。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございます。

集まった募金は、地域活性化のための福祉活動やその費用として活用されるほか、災害ボランティアに役立てるなど「自分の町を良くするしくみ」に役立てられます。今後もご協力よろしくお願いたします。



内 訳	募金額 (円)
戸別募金	1,302,200
街頭募金	18,567
学校募金	16,750
職域募金	43,249
その他	124,706
<b>合 計</b>	<b>1,505,472</b>

(令和4年12月28日現在)



ひとり親世帯緊急子育て家庭応援事業  
「わあ、たくさんありがとうー!」

大鰐町社会福祉協議会ではコロナウイルスや物価高騰の影響により打撃を受けている食べ盛りの子どもを養育しているひとり親家庭を応援するため、日用品や食料品（二万円相当）の支援を行いました。

対象となった親子からは、「家に帰って開けるのが楽しみだね」「子どもがよく食べるので助かる」などの声が聞かれています。年末を控え、少しではありますが生活意欲の向上や地域のつながりを感じてもらえるよう実施した事業です。また、大鰐町社協では、日々の生活で悩みごとや困りごとなどの相談も受け付けております。一人で悩まずにご相談ください。

※12月12日で受領期間が終了しておりますが、受け取り忘れがあった方は1月中旬は受け取り可能といたしますのでご連絡ください。



ずっと  
住み続けたい

地域づくり講座開催

12月8日、虹貝コミュニティセンターにて、地域づくり講座が開催されました。

近隣住民の皆さん、地区役員さん、民生委員さん、ほのぼの交流協力員さん、保健協力員さんが参加しました。

特定非営利活動法人全国コミュニティイフサポートセンターの橋本泰典氏を講師にお招きし、「日常の中にある支え合い」と題し、日常の何気ない気かけ合いや近所同士のつながりが地域のお宝であり、互いに小さな活躍をすることが住民や地域の健康寿命を延ばすことにつながることを学びました。

4名ずつに分かれてのグループワークでは、それぞれ普段の暮らしでしているおすそ分け、散歩などは、見守りや健康づくりといった意味を持ち、地域を元気にしていることを認識しました。参加者からは、「一緒に活動している人に教えたいなあ」という声も聞かれました。

住民の皆さん一人ひとりが町の宝物であり、つながりが安心を生みます。この講座を通して改めて地域のことを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



わがまち、お宝



「童謡を歌う会」

今回のお宝は結成29年を迎える「童謡を歌う会」です。現在も週に一度公民館で練習を行っています。準備運動のあと、ウォーミングアップとして「歌のドリル」の曲目を歌います。季節に合わせて練習の曲目を考えるのはリーダーの芳賀雅子さんです。「今日はすごくきれいに声が出るね」とか、「今日はちよっと元気ないわよ」と叱咤激励しつつ会員さんの様子を気遣いながらけん引しています。

会員の皆さんも、「この部分をもう1回パートごとに練習したい」など希望や提案を自由に話せる雰囲気です、毎週通うのを楽しみにしておられるようです。

練習の最後に歌うのは、「グッデイ・グッバイ」です。明るいメロディと、「あなたに会えてほんとに良かった」という歌詞によってさらに元気になって解散します。12月11日、大鰐町中央児童館のクリスマス会に出演し3年ぶりにステージに立ちました。



練習風景

今後開催予定の行事

開始時間：午前10時

行 事	開催日
1 寅蔵のやさしいヘルシーディスコ(第1回)	1月31日
2 寅蔵のやさしいヘルシーディスコ(第2回)	2月14日
3 寅蔵のやさしいヘルシーディスコ(第3回)	2月28日
4 ふまねっと体操	3月14日



11月22日実施の  
屋内グラウンドゴルフの様子

（担当：藤田・工藤）  
☎ 47-5151

申し込み忘れのないよう、  
よろしくお願ひいた  
します。

自慢の温泉に浸かってみませんか？  
参加は無料ですが、事前予約が必要と  
なりますので、申し込み忘れのないよう、  
よろしくお願ひいた  
します。

みなんで楽しめる活動のあとは、当館  
は、入浴福祉バスの運行に併せて「元気  
ハツラツ！オオワニマチD!!」を行って  
います。

**冬期間高齢者生きがい事業**  
**元気ハツラツ！オオワニマチD!!**

運行日・運行ルート

今後の運行日	1月31日	2月14日	3月14日
--------	-------	-------	-------

①駒ノ台・九十九森・唐牛・長峰・ 苦木方面	
8:50 発	駒ノ台バス停
8:54 発	駒木バス停
8:55 発	駒木西バス停
8:58 発	上九十九森バス停
9:05 発	唐牛・旧農協前
9:08 発	唐牛・石田商店前
9:10 発	九十九森バス停
9:12 発	長峰バス停
9:14 発	苦木バス停
9:16 発	元長峰バス停
9:18 発	大鰐南団地前バス停
9:20 着	総合福祉センター着

②高野新田・居士・三ツ目内・島田・ 早瀬野・虹貝新田・虹貝方面	
8:40 発	島田・久須志神社前
8:43 発	早瀬野予約バス乗り場
8:47 発	三軒新田バス乗り場
8:50 発	虹貝新田バス停
8:53 発	旧高校前バス停
8:54 発	虹貝バス停
8:55 発	第二清川橋バス停
9:05 発	高野新田集会センター前
9:10 発	居士集会センター前
9:11 発	居士・旧渡辺商店前
9:15 発	上三ツ目内バス停
9:16 発	三ツ目内バス停
9:17 発	中三ツ目内バス停
9:18 発	三ツ目内福清水バス停
9:25 発	大鰐温泉駅
9:30 着	総合福祉センター着

③森山・八幡館・鯖石・宿川原方面	
9:00 発	鯖石・ごみ集積場所
9:06 発	八幡館福祉館前
9:13 発	森山公民館前
9:20 発	宿川原センター前
9:30 着	総合福祉センター着

帰りは全て15:00 総合福祉センター発です。

近年は一部中止が続いている入浴福祉バスですが、令和4年度も実施して  
います。  
ご利用には事前予約が必要となりますので、申し込み忘れのないよう、よろ  
しくお願ひいたします。  
☎ 47-5151 (担当：藤田・工藤)

**入浴福祉バスでぽっかぽか**



## 【除雪ボランティアを実施します!!】



大鰐町社会福祉協議会では、鰐中生ボランティアや地域住民と協力して、自らの除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯等で、経済的な理由で他に支援を求めることができず、かつ、家族及び親類等からの支援が得られない世帯に対し、除雪ボランティアを行っております。申込みは、地区民生委員を通してとなりますので、よろしくお願いたします。

### 【対象世帯】

- ・ 高齢者世帯や障がい者世帯等、自力で除雪作業が困難な世帯
- ・ 除雪作業を業者等に依頼することが困難な世帯（非課税世帯など）
- ・ 大鰐町内及び近隣市町村に家族や親戚等がなく、近隣住民からも援助が見込めない世帯

### 【除雪範囲】

- ・ 玄関から道路までの生活通路
- ・ 窓へかかる雪等の建物周辺
- ※ 屋根の雪下ろし等、危険の伴う場所は行うことができません。

### 【実施予定日】

- ① 1月28日（土）・② 2月4日（土）  
③ 2月18日（土）・④ 2月25日（土）

### 【活動時間】

午前9時～正午まで



### 【申込み方法】

除雪希望世帯は地区の民生委員へ相談してもらい、民生委員を通して社協へ申込みをしていただきます。

### 【その他】

- ・ 申込み多数の場合は、緊急性、危険性のある世帯を優先します。その場合、申込み順に関わらず、社協職員が現地視察をして決定します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況によっては除雪ボランティアを中止する場合があります。



前回の様子  
鰐中生ががんばっています!!

## 心配ごと相談所

- ◆ 2月2日（木）一般相談
- ◆ 2月24日（金）広域法律相談所  
※小田切達弁護士による相談（5件まで）
- ◆ 3月9日（木）一般相談

大鰐町社会福祉協議会 ☎0172-47-5151

左記の相談日以外でも随時受け付けております。お困りのことがございましたら、ご連絡ください。また、下記にも直接ご相談できます。

借金、多重債務のことなら…

東北財務局 青森財務事務所

☎017-774-6488

※青森財務事務所は、財務省や金融庁の仕事をしている国の出先機関です。

# 職員募集のお知らせ

- 募集人員** 正職員1名
- 職務内容** 事業の企画運営、相談業務他、社会福祉協議会の業務に関すること
- 勤務場所** 大鰐町社会福祉協議会
- 勤務時間** 8:15~17:00または9:15~18:00のシフト制
- 勤務日** 令和5年4月1日~
- 応募資格** 普通自動車免許・基本的パソコン操作ができる方※社会福祉士、社会福祉主事任用資格があれば尚よし
- 年齢** 35歳以下（キャリア形成のため）
- 給与・手当** 月給150,100~174,000円（昇給制度有）通勤手当他各種手当有
- 選考日等** 書類選考通過者を対象に【一次試験】令和5年2月5日（日）小論文・面接、【二次試験】2月12日（日）二次面接
- 試用期間** 6か月間を良好に勤務した場合正式採用
- 応募締切** 令和5年1月23日（月）までに、履歴書・最終学歴の卒業証明書、免許証及び資格がある方はその写しを大鰐町社会福祉協議会まで（詳しくはホームページに掲載しています）

- 募集人員** 放課後児童支援員1名
- 職務内容** 放課後児童クラブ及び児童館の業務に関すること（おもに放課後児童クラブの登録児童の支援）
- 勤務場所** 大鰐町中央児童館
- 勤務時間** 平日14:00~18:00、その他8:15~18:00の間4~5時間程度（シフト表により勤務）
- 勤務日** 令和5年3月~（勤務開始日応相談）
- 応募資格** ①普通自動車免許  
②保育士・社会福祉士・幼稚園教諭免許・学校教諭免許・放課後児童支援員認定資格のうちいずれか
- 年齢** 不問
- 給与** 時給 952円~
- 選考日等** 随時、書類選考及び面接
- 応募締切** 令和5年2月20日（月）締切り  
履歴書・最終学歴の卒業証明書、資格がある方は資格証の写しを大鰐町社会福祉協議会まで

## 大鰐町シルバー人材センター

### 令和5年度会員募集開始!

連絡先 ☎(49)1550



新年度から一緒に働く仲間を募集しています。健康と生きがいのため、あなたの経験や技能を生かして働きませんか？

### 編集後記

明けましておめでとございます。本年こそ明るい年でありますようにお祈りいたします。

今回のウェルフェア170号は「ボランティアセンター」開設のお知らせをしました。ボランティア活動は近所へのボランティアから災害時のボランティアまで幅広いものですが、今回は紙面の関係上、簡単な内容になりました。今後はもっと情報を増やしていきたいと考えます。新しい年の初めに日本古来の「たすけあい」をボランティア活動として考えてみたいものです。

### 投稿歓迎

「ウェルフェアおおわに」へのご要望や掲載記事の内容につきましては左記までご連絡ください。

#### 【編集発行】

社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会  
住所 青森県南津軽郡大鰐町  
大字蔵館字川原田37-6

(総合福祉センター内)

電話 0172-47-5151  
FAX 0172-47-5153

そのほか社協に関する情報はホームページに掲載しています

